



1月の大菩薩以来、5ヶ月間も山にお邪魔してなかったので、今回は、かなりワクワク&ドキドキだったものの、振り返ればいろいろありすぎた一日でちた... 🦋

とにかく反省点は、読みがあまかった...!?

6月の山に、こんなに残雪🌨️があったとは...。(今年が特別!?)

そしてこんなところに、おやぶんを連れてきまして、ごめん🙇

と内心ずっと思いながら、着いてきてくれてありがとう🙏

おやぶん、君のレベルは確実に上がったよ。なんて🤔

では、山行記録並に、いってみよう。

🎵尾瀬といえば、水芭蕉で有名ですが、

登り始めてから、すぐに目の当たりにした🤔笑ってられない現実。

《いわゆる、普通の水芭蕉》



《なんなんだー、と思わせる水芭蕉》



これ、尾瀬が直面している、『水芭蕉の肥大化問題』。

- 尾瀬に多くの観光客が集まる
- 直接大地に用を足す人も増える(=し尿の垂れ流し)。
- 水芭蕉がその養分を吸い取って、どんどん巨大化...💧💧

定められた場所で、トイレをすることもマナーなのです。

みなさま、山へ行ったら、よろしくね m(__)m

さて、登り始めてからすぐに残雪☁️に迎えられ、アイゼン装着。



しかし、アイゼンなしの登山客も多く、みんな、危ないよ…。

そうこうしながらも登り続けると、湿原が出現。

今回の登山道(裏燧道)は、広沢田代 & 熊沢田代と呼ばれる
2つの湿地帯があり、気持ちよく登れる登山道でした。



湿原の中の木道を歩く…。これぞ尾瀬の醍醐味。

ほぼ貸切状態で、超気持ちよかった。

おやぶん、ここですでに満足げ!? 🍔

また、ここでスキーヤーに会う。



器用にスキー板をくくりつけて歩く姿も、勇ましい。
山頂から、登山道以外の残雪の場所をたどって滑るような...。
ここは、イメトレだけは、しておこう。(いずれね!!)

そして再び樹林帯へ。

登り登って、2205m 地点。



ここで、先を歩く登山客が 4 人が降りてくる。
「この先にルートがないぞー!!」

げっ、道迷い。。。😓

結局、2085m 地点まで下り、登山道に戻る。

ロスタイム 30 分。体力的にもロス...

人生山アリ谷アリです。。。🏠

失われた標高を取り戻しに、再び歩いて、歩いて...

山頂👉👈

と思いきや、ここは俎板峠(まないたぐら)(2346m)。

ここよりも高い山頂、柴安峠(しばやすぐら)(2356m)が、
西側に聳え立つではないか!!



こうなったら、ピストン(=往復)で行くしかない。出発。

(注)余談ですが、燧ヶ岳という名前の山頂はありません。

ここいらのいくつかの山頂をあわせて、燧ヶ岳と呼びます。

柴安嶮(2356m) 登頂!!

ここが燧ヶ岳一帯で、最も高いとされるピーク!!



南側を見下ろせば、尾瀬沼。遠方は日光白根山。



山頂、バンザ〜イ🎉

で、実はここまで来るのに...

柴安嶮と俎板嶮を結ぶルートが、超危険地帯だった。

特に、柴安岨への登りは、60度以上はありそうな傾斜に、残雪が覆われていて、踏み固められた階段状の雪の上を何とか登ることができたけど…。

俎板岨に戻ろうと、この急斜面を下ろうとしたそのとき、

「落ちた!!」という声が、飛び込んでくる。

なにやら、3人の女性が滑落した模様… 

(でも、ザックを背負っていたおかげで、背中から落ちた彼女らは、軽症で済んだ様子。)

おれが、その現場にたどり着いた時には、確かに階段状の足跡はなくなり、滑り落ちた跡が…。

はっ!! そして気づく。

もしかして、ここで次に降りるのは、おれの番じゃん!?

落ち着けー、落ち着くんだー、wildwind  

というわけで、がんばりましたよ。まさかのアイゼンワーク
斜面を向いて、アイゼンのつま先を思い切り雪の中に蹴りこみ、階段状の足跡をつけていく。グローブもしてなかったので、素手で雪を触り続けるのも限界がある。でも手は離せない。そんなときに、これから、下から登ろうとする人には、「ゆっくりでいいですよ。しっかりした足跡が欲しいですし。」とか言われるし…

最悪、足を滑らせたときは、あのハイマツ目掛けて落ちよう
なんてことも気にしつつ…

超プレッシャーの中、1 歩ずつ、ゆっくりと降りることができた👌
高さはほんの 5m くらいだろうけど、50m くらいに感じたね😓

ああ、いい経験させてもらえました。

その後、俎板峠に戻り、昼食🍴🍴
あぁご飯を食べられるってステキなことだ...。✨

下山は、バスの時間に追われながら、長英新道を下山。
残雪の下りは、アイゼンをかかとかから引きずるような
スピーディーな歩き方(!?)で、かなり時間を稼ぐことができ、
(おやぶん、着いてきてくれて、ありがとう! グッジョブ👍)

その後、休憩なしで尾瀬沼へに出て、沼山峠を目指す。
ここからは、一般観光客に紛れて、木道を歩いてバス停へ。
(ほんとは、もっとのんびり歩きたかったけどね。)

《尾瀬沼付近》





そして、ぎりぎりセーフの 15:13 バス停到着。

慌しくも、15:20 バス出発 🚌

帰り道で一緒だった、ご夫婦(というより、奥様)がすごかった 🧐🧐

普段は生け花をたしなみ、着付けをする文化的な人だが、

高山植物が好きで、山によく来ている(=花の名前は完璧!) 🌿

まあ、ここまでなら、どこにでもいそうな人であるけれど...!!

小学生の娘と、毎年の親子研究(=セミの生育調査)が発展して、
気がつけば、その6年の研究がとんでもなく専門的な分野に発展し、
『日本セミの会』から論文執筆を依頼されていたり...

セミの前には3年間、モンシロチョウの研究にもいそしんでいたり...

(やはり、始まりは親子研究。)

そんなわけで、帰りの電車は、セミづくしの談義... 💧💧

でも、趣味がここまで専門的になれる、ってスゴすぎる...

と肌で感じた瞬間でした 💡

【タイムレコード】

6:30 御池 出発

(7:15-20 アイゼン装着)

7:30 広沢田代 通過

8:25-8:40 熊沢田代 休憩

9:30 2202m 地点で道迷い

9:42 2085m に戻る

10:40-10:50 俎板岩

11:10-11:15 柴安岩(燧ヶ岳山頂)

(悪夢の下り)

11:45-12:25 俎板岩にて昼食

(長英新道を下る)

14:15 浅湖湿原 通過

15:13 沼山峠バス停

(歩行時間 7 時間 30 分)

★フォトアルバムはこちら。

http://mixi.jp/view_album.pl?id=16556852&mode=photo

ふー。

そんなわけで、とにもかくにも、のシーズンは始まった。

今年も夏山をめがけて、今から体を作っておかねば。

(昨年のリベンジもあるし!?!?)

今年も、百名山登頂も増やしていきたいね。

がんばれ、自分👊